

2022年10月1日(土)

鳴く虫観察会

秋は鳴く虫たちが活発に活動する時期です。夜になると鳴く虫たちの合唱が聞こえてきますが、スズムシやマツムシといった有名な昆虫以外はよくわからないのではないのでしょうか。そこで園内ではどんな種類が鳴いているのか知り、鳴く姿を見つけることにもチャレンジしました。



35名の参加がありました。普段は目にすることがない夜の虫ということで、鳴き声は聞いたことがあっても、姿を見たことがある人は少数です。



今回のターゲットは鳴き声が最大のポイント。ということで、音源で鳴き声を聞いてもらいました。よく聞く声もあります。



野外に出たら、まずは玄関前で耳を澄まして鳴き声を聞いてみます。遠くで何種か鳴いていましたが、近くにはいませんでした。



少し進んでヨシ原の前に到着。ここで鳴き声を聞いてみると、玄関前よりも近くに聞こえ、マツムシの鳴き声も聞こえてきました。



草むらではスズムシとマツムシの鳴き声がよく聞こえました。



反対側の樹林からはアオマツムシとカナタタキの鳴き声。



地面にはコオロギが歩いていて、2種確認できました。



大きなショウリョウバッタを捕まえました。



途中から近くで花火が上がりました。しばし鑑賞。



豪華な花火が気になりますが、構わず観察続行しました。

～姿が観察できた昆虫～



オナガササキリ



コバネササキリ



ホシササキリ

ササキリの仲間は草にたくさんとまっているのが観察できました。この3種は姿も鳴き声も似ているうえに、鳴き声がとても小さくて、鳴く虫というのを忘れてしまうほど。昼間も草地でよく見られます。



ツユムシ

ツユムシも鳴き声はとても小さくて、ほとんどわかりません。



エンマコオロギ

コオロギの仲間は鳴き声に特徴があり、わかりやすいのですが、鳴くのは地面の物陰なので、鳴く様子はなかなか見られません。



ハラオカメコオロギ

鳴く姿は見られませんでした。スズムシやマツムシなど8種類の鳴く虫の声を聞くことができました。これらは普通種なので、みなさんの家の周りでも探してみてください。